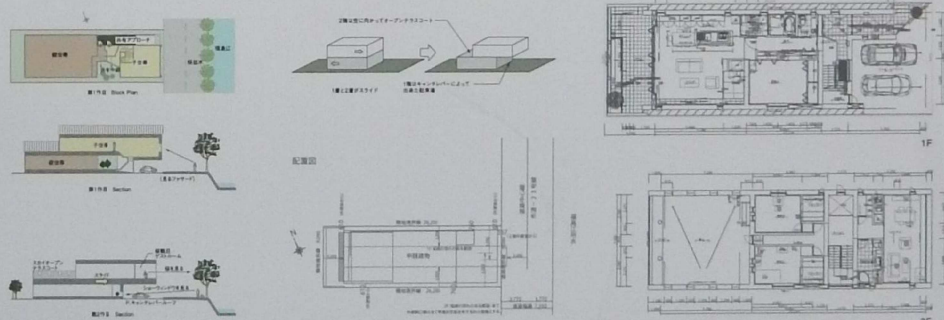


Flying House 桜観荘



Flying House 桜観荘

桜観荘は、M様からの2回目の住まいづくりの依頼であった。
建築地のロケーションは、桜並木の名所福島江沿いである。
第一作目は、蔵風デザインをモチーフにし「室外から観て桜に映えるファサード」であった。対する第二作目は、RC打ち放しキャンチレバー工法を採用し「室内から桜を観る桜観の間は、前面ピクチャーウィンドファサード」である。
桜は開花期間も短くとも華麗な花を咲かせる。
対する建築には、長期対応能力と堅固であり重厚感「蔵、打ち放しコンクリート」をデザインすることで、自然と建築の対比美を追求したのは、第一作も第二作も同じである。フォルムは、シンプルに1Fと2Fをスライドさせることで生じるキャンチレバー空間と2階には空に向かって伸びる大コートデラスが作り出された。
尚、RCの品質確保「ひび割れないコンクリート」を作るために密実なコンクリートを作ることに挑戦も受けて立つことになった。

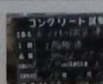


M様邸の経緯

平成18年3月11日、突然の火災発生で一瞬のうちに全壊としたM様邸(平成元年12月竣工)しかし耐火火構造のために外観は火災の相を見せなかった。消防活動の最中も隣家ではTVを見ていられたのはとても感動のものであった。
ということで、一週間後に2度目の依頼となる建て替の話しが出る。
以前のファサードは、福島江の桜に似合う現代蔵風をモチーフにした。
この度は火災対策として、RC 打ち放し構造が希望され福島江の桜とのコラボは共通のテーマであった。RCの特性を活かして大きくキャンチレバーを盛り出すことでインパクトのあるファサードが演出される。
ストラクチャーデザインが演出する桜とのコラボは、内外空間とも共に共鳴している。



ひび割れの無い
密実な
コンクリートをつくる



項目	単位	数量	単価	金額
建築費	円	1,200,000	1,200,000	1,200,000
設計費	円	100,000	100,000	100,000
施工費	円	500,000	500,000	500,000
材料費	円	300,000	300,000	300,000
その他	円	100,000	100,000	100,000
合計	円	2,200,000	2,200,000	2,200,000